

未来

筆者は、令和2年度卒業の山口桃佳さん
令和4年12月23日 第9号

新型コロナウイルス感染症により、日本中、世界中が前例のない困難に直面しています。

このような時にでも郡山第一中学校生徒一人一人が、夢や未来に向かって「あきらめない」との強い思いを抱き、進路実現を果たしてほしいとの願いがあります。「未来をあきらめない」「未来は変えられる」

文責 校長 宗形 俊二

明日から冬休み 終業式において

今年も残すところ一週間余りとなりました。学校は、本日で2学期が終了となります。終業式も「三密」を回避するために、ZOOMによる式となりました。そこで私から次のような話をしましたので、概要を紹介します。

～略～ 今学期を振り返ってみれば、学校行事では体育祭、開桜祭、修学旅行や学習旅行をはじめ、全校生徒を一堂に会しての合唱祭が実施できました。コロナ禍の中ではありましたが、生徒の皆さんの協力はもとより保護者の皆様のご理解とご協力により、実施できたことを大変うれしく思っています。

また対外的なことに目を向ければ、中体連大会はじめ各種コンクール等において、3年生を中心にした皆さんの活躍は、先程の表彰でもわかるとおり多くの生徒の皆さんが表彰され、素晴らしい成績を残しました。コロナ禍で大変暗いニュースが続いていた中で、皆さんの活躍は、私たちはもとより、保護者や地域の方々に明るいニュースを届けることができましたし、同時に郡山第一中学校の名声を県内はもとより全国に発信することができました。皆さんの頑張りを賞賛し、大きな拍手を送りたいと思いますし、そんな皆さんを校長先生は誇りに思っています。ありがとう。

さて、いよいよ明日から17日間の冬休みに入ります。冬休みは、家で過ごす時間が長くなるかと思いますが、1日24時間という平等に与えられた時間を大切にして、事故や事件に遭わないよう健康に留意して有意義な冬休みを過ごしてください。～略～

「感謝」今年一年大変お世話になりました。

今年一年、PTA役員の皆様はじめ保護者の皆様には、コロナ禍の中において、本校の教育活動に多大なるご理解とご支援、ご協力を賜り心から感謝を申し上げます。お陰様で、「明日が見えない」という状況の中ではありましたが、子どもたちの健康・安全そして命を守ることを最優先に考え、「郡山一中のすべての子どもたちにハピネスを提供できれば」との思いで、PTA会長様はじめ役員の皆様、教職員等で知恵を出し合い創意工夫を発揮し、「何ができるか、何をすべきか等」を考え、「想いを形に」してきたところです。体育祭、合唱祭、修学旅行、学習旅行等の学校行事が時期変更や規模を縮小しての実施ではありましたが、開催できたことを大変うれしく思っています。また、対外的な大会やコンクール等での郡山一中生の活躍には目を見張るものがありました。いつも応援いただきありがとうございました。このようにコロナ禍でありながらも、子どもたちや私たち教職員が頑張れましたのは、保護者の皆様のご理解とご協力等の賜であると重ねて感謝を申し上げます。今後も、WITHコロナの難局を共に乗り越えていきたいと考えています。よろしくお願ひいたします。

良いお年をお迎えください